

第1回王子共創会議 議事録

日時：2023年10月26日（木）16:00～18:00

場所：北区役所 第2委員会室

1. 開会

事務局 ・開会宣言

2. 委員委嘱（委嘱状交付）

事務局 ・机上配布にて委員委嘱

3. 副区長挨拶

副区長 ・開会挨拶

4. 委員紹介

事務局 ・資料の確認
・当会議は20名の委員によって構成することの確認
・委員の名前は委員名簿の配付により確認
・委員1名欠席の報告

5. 会長及び副会長の互選

事務局 ・設置要綱第5条第2項に従い互選によって会長・副会長を選出
各委員 ・久保田委員からの推薦により、出口委員を会長とすることを承認
・出口会長からの推薦により、久保田委員、三浦委員を副会長とすることを承認
・会長、副会長からの挨拶

6. 会議に運営について

事務局 ・事務局より検討会設置要綱の説明
・検討会委員の構成について確認
・会場による傍聴、オンライン配信による傍聴について確認
・検討会の要旨等は事務局でまとめ、区民に周知することを確認
・部会の設置について確認
・委員が欠席する場合は代理を認めることができることを確認

7. 議題

(1) 王子駅周辺まちづくりガイドラインの策定について

事務局 ・配布資料に基づき状況を報告

(2) 先行実施地区の進捗状況と検討事項について

事務局 ・配布資料に基づき状況を報告

会長 事務局の報告について、質問、意見はございますか。

委員 24の石神井川の水質改善について、2月か3月にスカム若しくはヘドロを回収してもらいました。終わった直後からにおいが出てくるといのが現実です。船舶によるスカム対策とお話がありましたが、年に何回実施する予定ですか。

委員（北区） 今年度は7月から週2回、船舶によるスカムの対策を実施しました。その前は散水による対策をしていましたが、7月から10月にかけて、定期的に週2回、計18回稼働し、臭気対策に取り組んできたところです。

委員 地域にとっては最大の課題であり、引き続きよろしくお願いします。

委員 資料5の説明で、サンスクエアの赤い地区に言及されました。どちらに売却したのかは公開されていませんが、しかるべきタイミングで共創会議にも参画いただき、いい形で開発が進められるよう、区からも巻き込んでいていただきたいと思います。

事務局 サンスクエアについては、日本製紙から売却先は非公表と伝えられています。また先日、この売却に関する区長からのコメントを出したところです。区としては、新たな土地所有者となる譲渡先と今後、協議・連携を強化していきます。

新たな土地所有者を共創会議の委員に、とのご意見でしたが、委員は追加できることになっていますので、参加していただく形で協議を進めていきたいと考えています。

(3) 新たな地区での整備計画の検討について

事務局 ・配布資料に基づき説明

(4) 今後の進め方及び部会の設置について

事務局 ・配布資料に基づき説明

(5) エリアプラットフォームの準備状況について

事務局 ・配布資料に基づき説明

会長 議題3、4、5について、委員の皆様にお諮りすることがいくつかございます。まず、資料6の新たな整備計画検討について、駅の北口で整備計画を検討していくという説明がございましたが、こちらについて、ご質問、ご意見等がございましたら、ぜひお願いしたいと思います。

委員 将来都市構造を検討して行くことは、大変重要であり、はっきりとお示しいただき、非常に前に進んだと捉えています。参考資料のところに、詳しく交通環境についての検討、車両動線や交通結節点などの資料が示されました。

今後、部会で検討して行くと思いますが、交通を考える時にこの場所だけでなく十条駅から延焼防止帯の道路が中央図書館の横を抜けて、明治通りに直接行けるように出来上がっており、十条駅からというよりは、北本通りから山側へ上がっていき、そちらの方へ出られる、もう少し広域で考えていくことが必要でないかと思えます。交通の話は極めて難しく、感覚的に王子がウォークブルになった時に(車両は)どこに逃げるか、もう少し広く考えた方がよいと思えます。今でも溝田橋側から左折して王子駅へ入る等、地元から見るとあそこだけで解決はしにくいと思えます。北区だけでなく、東京都全体で考えて、足立区・荒川区からの車が王子を通らないようにするか東京都の整備基盤の中で考えられないのかという、そういうことも含めて大構えにしていく必要があるのではないかと思います。

事務局 事務局からお話しさせていただきます。先程、委員からいただいた、広域的な交通について考えたうえで北口を考えていかななくてはいけないという主旨のご発言でした。

都市基盤整備部会で、関係者による、より詳細な内容について専門的、技術的な検証を行い、その内容を共創会議の中で、一般の方にも分かりやすくご説明をしていきたいと考えています。ご意見をいただいた通りの検討を今後していく予定となっています。

副会長

東京都はこれまで、約10年に一度、都市計画道路の進め方について見直しをしてきました。道路網の交通量を予測するなどにより、どこの道路を優先的に整備すべきかを判断してきたわけです。もしかすると、そろそろ見直し時期が近づきつつあるかもしれません。ここでの議論の結果を踏まえ、王子をこうしたいからと要望を出していただくチャンスがあるかもしれませんので、それを想定した議論をしていきたいと思います。

委員

副会長に教えていただいた、(優先整備すべき道路が)どこに来るのかということが計画の中に入ってきて、東京都の議論に出していけるよう先行して進めてほしいと思います。

委員

委員からの話があった通り、いつも地域振興の観点から話をさせていただいていますが、北口周辺と北本通りを検討して行くことは必要不可欠だと思っています。

王子駅前ということでこのエリアが商業的に発展し、賑わいのあるまちを目指していくこと、それが一番大切であり、この王子エリアの問題点であると思っています。一方で住民にとっては、生活の場と賑わいの場がバランスよく共存していくことがまちづくりにおいて、最も注目すべき点であると思っています。また王子の良さは、共存していて安全で安心できるまち、私たちは今までここで生まれて育っていますので、そういったものを根本において、王子のまちを作っていかなければならないと思います。

駅に近いところでは、歩道が狭くて、人の混雑性があります。夜間などはそこに駐輪されてしまうと障害者等は通れなくなってしまう危険性がありますのでしっかりと対応していかなければならないと思います。

緑が少ないと資料にありましたが、数少ない緑の中で、子供たちが遊んでいる場所でマナーの悪い方がいらっしや、子供たちが近寄りづらいことが見受けられます。喫煙などがあるので、マナーの問題を考えていかななくてははいけない。そもそも緑の量が足りていないので、日本製紙と新庁舎エリアでうまく融合性を持たせながら、最初の段階から緑の多い、憩いの場を作っていけたらよいと思います。また、住みたい、働きたい、遊びたいまちができるように、今後検討していただければありがたいと思います。これからの要望というか、まちづくりとしてお願い

いしたいものです。

会長 北口と北本通りを対象とした整備計画、地元生活者の観点の重要性をご指摘いただきました。整備計画の方に反映していただけたらと思います。

委員 資料6のP16・17で貫通道路が示されていますが、北本通りから北口の方は、整備計画の中では、資料5に短期ということで早くに実現されると書かれていますが、行きつく先の栄町は、住宅が大変込み合った地域です。この地域にコーナンやオーケーなどのディスカウントストアや食料品スーパーがあり、王子駅から明治通りを下り、溝田橋を右折して、その先の道が狭い住宅街にも車が入ってくるという現実があります。

貫通道路ができれば、住宅密集地である栄町にさらに多くの車両が入ってくるのではないかと懸念しています。現状、細い住宅地道路に入ってくる車は、住民にとって、脅威になるのではないかと考えています。先行計画の中に貫通道路がありますが、栄町地域の住民が安心して暮らせるように配慮した上で、この貫通道路を計画し、栄町の住民にも詳しい説明をしてほしいと思っています。

会長 貫通道路の整備に伴う懸念、課題をご指摘いただきました。

事務局 本日の資料では北口の話が中心となっていますが、委員がおっしゃった貫通道路は、王子駅南口に至る道路として示されているものです。そこから先の栄町地域にはいろいろな懸念があるとのことでした。

本日、資料としてはお示しできていませんが、ガイドラインの戦略9では災害に強い住環境の形成、主要生活道路の整備を掲げています。短期的に取り組んでいく貫通道路の整備に合わせて行うことはなかなか難しいですが、まずは貫通道路ができた時にこの先、車がどのように抜けていくかを部会や共創会議の中で配慮しながら検討し、お示しできればと思います。

また地域の方々にも情報提供をして知っていただく必要がありますので、説明はしっかりさせていただきたいと思っています。

会長 (3)の整備計画についてですが、ご意見等ないようでしたら、事務局から提案があったとおり、まずは整備計画の検討を進めていきたい

と思います。よろしいでしょうか。

・・・(拍手)・・・

今後の進め方の都市基盤整備部会の設置についてお話ししたいと思います。ご意見、ご質問等ございましたら、お願い致します。

部会を設置することに関して、特にご異議ないようですので、都市基盤整備部会を設置することとします。

また、部会長・副部会長は会長が指名することとなっていますので、この場で指名をしたいと思います。久保田副会長は、都市交通がご専門でありますので、部会長に、副部会長は行政経験豊富な三浦副会長にお願いしたいと思います。

・・・(拍手)・・・

(5)の準備状況について、こちらの関係についても考え方が示されました。エリアプラットフォームについて何かご質問、ご意見等ございますか。準備会が開催されたということで確認いただきました。ソフト施策を進めていただきたいと思います。

議題の1～5のところまで、ご審議をいただきました。本日の議題がひと通り終わりましたが、意見を踏まえて次回に向けた準備について事務局からお願いしたいと思います。

事務局

しっかりと第2回に向けて、準備したいと思います。

委員

娘が小学校4年生ですが、王子一丁目は、ベビーカーでも通りづらく、公園が少ない。駅前の三角公園は、子どもやお母さんが寄り付きづらい状況があります。キッチンカーを呼ぶなど、今すぐできることはすぐにやっただけであればと思っています。孫世代が本当に使う街になるときに、王子が羨ましがられるようなまちになるよう希望しています。

委員

生まれてからずっと北区に住んでおります。少しの間、赤羽に行きましたが、それ以降は、堀船に住んでいます。

大学生の息子がいますが、王子は交通の便は良いけれど、道が狭いし、遊ぶところが無いと言っています。北区にお金を落とさないのです。車で外に行ってしまう。

私が小さい頃は、王子には劇場やいろいろな店があり、ミスタードーナツも食べたい時に食べられました。今はミスタードーナツを食べなければ、車を走らせないといけない。王子はいいところなのに、不便か

などと思います。とても歩くところが狭く、喫煙所のコーナーを通過して、信号を数回渡って親水公園へ向かいます。全体的に駅前が暗いです。王子駅周辺をもっと明るいまちにして欲しいです。それが私たちPTA連合会の意見です。

人が集まることによって、治安が悪くなるし、そう考えると王子の駅前で何かあった時に、信号を渡りながら、逃げてしまいます。人を集めるに当たっては、治安の問題があります。

王子に住んでいますと言ったときに「八王子?」と聞かれることが多いです。堀船と言ったら「船堀?」と聞かれるので、王子と言ったときにすぐに分かるような、外の人にも名前が知られるような地域になって欲しいです。地域で生活していて、この計画が出来上がるころには高齢者になっていますが、王子に住んでいてよかったと思えるような、生活しやすい場所なるとよいと思います。

会長 今のご発言を踏まえて、まだ発言をしていらっしゃる方にご意見をお願い致します。

委員（代理） 本日は代理で出席しております。今後の議論に参加できるよう伝えて参りたいと思います。32ページの資料番号24、北区の購買が最下位ということでしたが、この表を見て意外なのは、江東区で購買力があるというか、非常によく売れています。有名な砂町銀座商店街もありますが、区外の方をそれほど呼べるとは思えないので、臨海部かなと思います。購買力が北区よりは少し良い世田谷区は、下北沢・二子玉川・三軒茶屋などがあり、人口が90万を超える人口が多い区です。北区ですが商店街問題としても最下位を脱出できるよう、区外からも来てもらえるような魅力的な商店街をつくっていきたいと思います。

会長 資料を見ると、北区の特徴や課題がよく分かります。消費者側とご商売をされる側の両方からご意見をいただきました。整備計画はハードが中心ではありますが、どのように活性化につなげていくかをソフト面からも検討して行ってほしいと思います。

委員 私もこの資料はすごく面白いと思い、拝見しました。購買力そのものは、23区内で11番目というのも意外です。そんなに良いのか?と。
一つは商品の販売額なので、飲食などは全然入っていません。都市開発に使う資料なので、飲食データも含めてみると興味深いのではない

かと思いました。

商品でいえば、左側の上位の区は付加価値の高い商品があるのだと思います。し当然結果としてあり得るし、北区はそれに対する対策はあると思いますが、飲食というものが都市を開発していくソフトの面でもあるので、同じような資料があると良いと思います。

委員

王子銀座商店街の副理事長をしています。その立場から言わせていただきますと、地域交流エリアである王子駅から北の交差点までは、まさに王子銀座商店街を含んだエリアです。生き残りをかけた立場になっています。125店舗あった商店街が、現在は80店舗を切っているというのが現状です。殆どがチェーン店であり、地元の方々のお店がどんどん少なくなっています。道路の状況において、人通りの流れが悪くなってきています。今後の開発次第で、この商店街が生きるか死ぬかの問題を抱えているので、それを考慮しながら、考えていかなければいけないと思っています。

委員

飲食の立場から発言致します。明治以降、王子地区の都市計画はきちんとやっていないと思います。昔は、王子へは人がわざわざ来る町でしたが、住民だけではやっていないところがあります。新しいかどうか、劇場があるか、商業ベースでわざわざ人が来るようなものは必要なのかなど、そういうことも検討できればと思っています。

会長

基盤整備だけではなく、営みも組み合わせて検討して行かないといけないということになりますね。

委員

初めて参加しますので、分からない点がありますが申し訳ありません。最初の北区役所移転の拠点形成エリアの南側にどういったものがくるのかがイメージできていません。それも含めて話し合う場なのでしょう。ウォークブルエリアというと、何もなくて歩ける場所や芝生がある、商業施設ができるなど、それによって北口開発や南口の周辺がどうやって変わっていくかが大きく左右されるように思ったので、分かる範囲で教えていただければと思います。

事務局

それぞれのお立場から、様々なご意見をいただきました。総括的な回答になりますが、王子共創会議では、都市基盤について検討していただくだけでなく、皆様がおっしゃったように産業や生活のことも検討してい

くことが必要であると認識しています。

本日の内容は、新たな検討エリアとして北口を対象とすること、それと併せて部会を設置していくこと、またエリアプラットフォームを同時に進めていることでした。ハードとソフトを同時進行で考えていく必要があり、北口の検討とエリアプラットフォームを同時に走らせることを意図しています。

先行実施地区では、どのような建物が来るのか、集客性のあるものが来るのかなどが期待されていると思いますが、現時点では、具体的に絵姿が我々も描けていないし、地権者は非公表となっていますので、お示しできていません。

新庁舎の設計が今後進んでいき、具体的な建物の姿や、どのような道路になるのか、広場は作られるのかなど、具体的な内容を共創会議の中で、報告していきます。現時点ではイメージし切れていませんが、できる限りの情報を会議の中で公開し、意見等をいただきたいと思っています。

会長

委員からお話がありましたが、本日の議題の中で北口を中心にして力を入れていくように見えたというニュアンスに聞こえたので、南口も共創会議の対象となることを確認しました。その部分に関しては、土地所有者が変わったタイミングで、どう進めていくか区が調整されていくということでしょうか。

事務局

資料7に書かせていただきましたが、北口と先行実施地区という中央口南口のエリアを同時並行で考えていきます。先行実施地区の方が先に検討が進んでいき、視覚的なイメージも含めて、明らかになってくる。北口は、交通の考え方や構想レベルの話と並行し、どちらも共創会議で扱っていきます。

委員

目黒区から浦和へ、その後に王子一丁目へ引っ越して子供が生まれました。他のところに住んでいたため、比較してしまいましたが、他の地区と比べて衝撃的だったのは、その辺で放尿する人、たばこのポイ捨て、飲酒している人がいて、考えられないような景色がありました。これがどう変わっていくのかなど。規制とかではなく、このまちを大事にしたいという人を増やしていくことが大事であると感じています。

ウォークブルということで、王子1丁目に3年間住んで感じていることは、明治通りやバスがそのまま残り、どうやってウォークブルにするのかと。にぎわう状況の想像ができなくて、バスタ新宿みたいな形に

なるといい、大通りだけでも地下になったらいい等、そういうことは想像できましたが、今の交通環境からは、想像ができませんでしたので、もし戦略があるのであれば教えてほしいと思います。

委員 王子本町一丁目に住んでおり、個人的には、区役所の移転で跡地がどうなるか気になることと、ウォークブルの話がありました。十条の方から動線がどうなるかを考えていただければと思います。

事務局 王子をどのようにウォークブルにするのだろうかというご質問がありました。本日の資料には入っておりませんが、ガイドラインの冊子をお配りしております。その中で、48、49 ページがウォークブル・ガーデン、コネクティング・コアの考え方についてガイドラインの中で検討しています。川が流れており、大きな道路が通り、鉄道が通っていて、しかも高低差がある。ウォークブルの実現がとても難しいが敢えてウォークブルの実現に向けて、昨年度までの検討会でもかなり議論させていただきました。

場合によっては、右側の 49 ページにもありますが、デッキレベルや地下も使いながらも、まずは地上を中心に歩きやすくし、人が集まって賑わうまちをつくる。まだ概念レベルで留まっているところですが、今後、先行実施地区と北口周辺をどうしていくかについて、共創会議で議論していただきたいと思います。

また、庁舎跡地は、新庁舎にかかる費用がありますので、現時点では売却する方向性ではありますが、いずれ議題に上がってくる話ではあります。十条から王子に向かってくる方々の動線も引き続き考えていかなければならないと思っています。駅へ向かう高台からのアクセスが現時点で必ずしもいいとは言えません。自転車についても明治通りをかなりのスピードで曲がりながら降りてくるなど、危険なところもありますので、高台側からの視点というのも考えながら、まずは低地側の動線構築と北口周辺地区を検討させていただきます。

会長 非常に複雑で難しい、23 区内でもなかなかない王子型のウォークブルについての議論になります。関係事業者から何かご発言がありますか。

委員 ガイドライン策定検討会からの参加となります。交通事業者として、コロナ禍で鉄道利用者が減少してしまいました。コロナ後の明るい兆

しはありますが、定期利用の乗客は戻らないことがニューノーマルと
なってきましたので、街の魅力を高めて賑わいを創出し、送客すること
が鉄道事業者の役割と認識しております。他の交通事業者の方々にも
委員としてご参加いただいているので、連携して魅力あるまちづくりに
協力させていただきます。賑わい創出に向けて、引き続き議論させて
いただきたいと思います。

委員 弊社も、先ほどの交通事業者様と同様の状況でございます。引続きま
ちと一体となり、お客様にご来訪いただけるような施策への協力をさ
せて頂きたいと考えています。

委員 先ほどの先行実施地区の進捗状況説明にもありましたが、現在、北区
新庁舎建設予定地の北区への譲渡に向けて、譲渡敷地内の機能移転先
となる事業棟建設のため既存建物の解体工事を進めています。関係者
の皆様のご理解、ご協力のもと、円滑に工事を進めさせていただいて
いる状況について、この場を借りまして、感謝を申し上げます。

今後も、北区の事務局、近隣の自治会長をはじめとした関係者の皆様
のご理解を賜りながら、北区新庁舎建設予定地の敷地譲渡に向けて、印
刷局が対応すべき、まちづくりガイドラインの取組内容を進めてまい
りますので、引き続きご理解とご協力をお願い致します。

オブザーバー 全国のまちづくりを行っている中でご縁があり、出席させていただ
いています。

感想となりますが、非常に都市課題が多くあり、一度に解決しようと
すると非常に長い時間がかかってしまいます。エリアプラットフォーム
を進めながら並行してやっているとありましたが、議論の中でまち
づくりの実践や小さな取り組みを進めながら将来像についてもイメ
ージをしながら進めていけると良いのではないかと感じました。

実現に向けたノウハウの提供など、区のまちづくりに協力していき
たいと思います。

副会長 時間がかかることだけれども時間軸を整理された 8 ページの A3 資
料で見ると非常に分かりやすかったです。新庁舎の完了時期までに終
わるものとその先の動きが分かります。

貫通道路については予備設計に取り掛かっており、絵で見ると上の
方は北本通りに向かって、三角公園のあたりに顔を出しています。本日

ご説明いただいた整備計画、北口エリアの最後の 18 ページを見ると、三角公園のところのエリアがダブっており、三角公園の将来のありようが重要ではないかと思えます。道路の横断構成の作り方も歩道やどのようなレーンを作って等、今はいろいろなタイプ・手法があるので、この沿道に合うような議論をするとイメージしやすいのではないかと思います。

今回新たに検討を行う北口広場については、交通から言うといよいよ本丸という思いがあり、先行的に貫通道路を整備しつつ、今の広場をどうしていくかの議論に入れるかと思えます。整備計画は非常に難しいところではありますが、是非進めていってほしいです。

副会長

議論が楽しみになる、非常に素晴らしい会でした。P8 の貫通道路の北側の先が気になったところがあり、先行地区を超えて、北本通りに向かっていく矢印ですが、現道にタッチして北本通りに T 字でぶつかる形が想定されているように見えますが、本当によいかは議論しないとイケないと思えますし、新しい道路を作るとは、その南側に新しい歩道空間ができることなので、当地区のウォークブル・ガーデンに重要な空間となります。先行地区の三角公園を含めて、北本通りまでの間の左側の歩道をどう作るか、使うかはこのエリアのウォークブルにとって極めて大事なものになります。そうすると貫通道路の議論が先行地区だけで留まり、その先がどうなるのかは分からないのは少し不安が残ります。むしろ、明治通りから先の貫通道路については、これから議論が始まる北口周辺まちづくりの計画などと一緒に議論した方がよいのではないかと思います。提案ですが、とりあえず先行していただくのは明治通りまでにして、そこから先には、今言った議論と一体で進めていけば、先々手戻りが無くて良いのではないのでしょうか。

会長

部会で考え方をシェアしていただきまして、議論をしていただきたいと思えます。悔いの残らないよう、長い将来を見据えた計画としていただきたいと思えます。

8. 閉会

会長

長い時間ありがとうございます。非常に高い問題意識を持った委員の方々と一緒に議論できることを大変光栄に思います。皆様と一緒にまちづくりのガイドラインの見直し、整備計画等を作り上げていきたいと思えますし、その後まちづくりもさらに高いレベルが求められ、孫

の代につなぐような新しいしくみ、仕掛けが必要になりますので、皆様にアイデアを出していただき、議論し、継続してまちづくりに取り組んでいける素地を作りたいと思います。皆様、本日は長時間ありがとうございました。

副区長

・閉会の挨拶

以上